



▲最後まで元気いっぱいの親子レース



▲たくさんの声援を受けながら走る選手



▲ハーフ女子総合で優勝した宮崎めぐみさん（後草）

冷たい雨に耐え

走りきった1,023人

第19回旭市

飯岡しおさいマラソン大会

2月3日、冷たい雨の中で行われた第19回目となるしおさいマラソン。最悪のコンディションにもかかわらずスタートとなる「いいおかユートピアセンター」には県内外から1,173人が集まりました。寒さの中、入念にウォーミングアップを行い、スタートについた選手たちの目は、真剣そのもの。最高齢83歳を含む1,023人が完走しました。ユートピアセンターではとん汁やお汁粉の無料配布が行われ、選手たちの冷えた体を温めていました。

市内の入賞者

※敬称略

【2km親子の部】

2位／鶴澤朝雄・隆聖（8分9秒）、3位／鈴木大作・秀弥（8分15秒）、6位／花澤淳・明日斗（8分24秒）、7位／ショアイガジアニアリアケバレ・岩井マハン（8分25秒）、10位／横山昌弘・直矢（8分40秒）

【3km小学生男子の部】

7位／佐久間一暢（12分06秒）、9位／熊本将成（12分13秒）、10位／岩井貴義（12分13秒）

【3km小学生女子の部】

2位／加藤亜紗美（12分17秒）、3位／加藤瑠菜（12分33秒）4位／大橋結衣（13分08秒）5位／土屋祐佳（13分10秒）

【5km中学生男子の部】

2位／高野雄介（17分29秒）、3位／浪川裕介（17分34秒）、4位／鈴木雄大（17分41秒）、5位／山崎雅史（17分41秒）、6位／林純也（17分49秒）

【5km中学生女子の部】

1位／伊藤祥子（19分32秒）、5位／矢萩郁花（20分58秒）、6位／佐久間友美（21分05秒）

【5km39歳以下女子の部】

1位／伊藤愛（18分27秒）、5位／栗栖明代（19分53秒）

【10km40～49歳男子の部】

1位／伊東重和（38分06秒）

【10km39歳以下女子の部】

4位／鈴木なえ子（48分53秒）

【10km40歳以上女子の部】

5位／網屋寿子（53分42秒）

【ハーフ29歳以下男子の部】

4位／石橋美規（1時間21分53秒）

【ハーフ50～59歳男子の部】

6位／石橋満（1時間32分11秒）

【ハーフ女子総合】田中茂樹杯

1位／宮崎めぐみ（1時間25分06秒）



▲雨の中でも笑顔でスタート



▲お楽しみ抽選会



▲次々と配られていくあったかお汁

いま改めて考える家族の絆

みんなで人権を考えるつどい

いまだなくならない子どもや高齢者への虐待やいじめ、インターネットによる人権侵害などの人権問題。人間が人間らしく生きていくのに大切なこの人権を守るため正しい認識を広めようと、2月9日にみんなで人権を考えるつどいが東総文化会館で開かれました。



▲作文発表者(左から)鶴澤和也さん(干潟中)、井上佳奈さん(光中)、竹本光さん(銚子二中)

催しは、あさひ少年少女合唱団の歌声で始まり、続いて中学生による人権作文の発表が行われました。中学生は、学校や家庭での出来事を自分のことばで堂々と発表しました。また記念講演では、内閣総理大臣補佐官で拉致問題を担当されている中山恭子さんが「自分らしく生きる」というテーマで講演。拉致問題から感じた家族の絆や人権の大切さを穏やかな口調で語る中山さんの講演が終わると、会場は大きな拍手に包まれました。



▲語りかけるように話す中山さん



水 神社で神楽を奉納



▶古式ゆかしい衣装での稚児舞

村の鎮守として古くから親しまれる水神社(後草地区)で2月3日、豊年万作と安全を祈願して永代大御神楽が奉納されました。

当日は、冷たい雨が降るあいにくの天気のため、境内に設置された特設舞台でなく、社殿内で12座の演目を披露。訪れた人たちは建物を取り囲むように、優雅な舞に見入っていました。

琴 田スポ少が2年連続優勝

第8回ウォーターフロント杯少年野球大会



▲優勝トロフィーを手に喜ぶ子どもたち

旭市、香取市、山武市、多古町、芝山町から8チームが参加して開かれた、第8回ウォーターフロント杯野球大会。1月27日、多古町町民グラウンドで行われた決勝戦では、琴田スポーツ少年団が3対1で芝山リトルを破り、大会2連覇を果たしました。

ア ベック優勝で全国大会へ出場

旭スタークラブⅡ

3月28日から宮城県で開催される第5回全国ホープス選抜卓球大会の千葉県予選が2月3日、JFE千葉体育館で開かれ、旭スタークラブⅡは男女そろって優勝し、全国大会出場の切符を手に入れました。

なお加瀬涼華さん・林めぐみさん・西野美里さんは、2月2日に行われた第10回千葉県中学校強化卓球大会女子団体の部で、小学生ながら中学生を破り優勝しています。



▲全国大会に出場する(前列左から)高木雅也くん・加瀬乃稀くん・井上直樹くん(後列左から)石井勝太くん・加瀬垂羅司くん・井上大誠くん



▲全国大会に出場する(前列左から)高橋侑子さん・井上優香さん・宮内菜々美さん・高根実菜加さん(後列左から)林めぐみさん・加瀬涼華さん・高上友里さんと県大会優勝の西野美里さん

沖縄県中城村の子どもたちが旭市を訪問

友好交流都市である沖縄県中城村から小学生12人が、2月13、14日の2日間、旭市を訪問しました。宿泊先となった「食彩の宿いいおか」では、共和・矢指・富浦小の子どもたち20人と交流し、お互いに郷土芸能を披露しあいました。また、14日には富浦小を訪問し、ゲームを一緒に楽しんだり、旭市のことを富浦小の子どもたちが紹介したりして、ふれあい交流会が開かれました。始めは緊張していた子どもたちも、すぐに親しくなり、楽しそうに話をしたり、ゲームに参加したりして、交流を深めていました。



▲富浦小でのふれあい交流会(2月14日)



▲郷土芸能「エイサー」を披露(2月13日・食彩の宿いいおか)

みんなで考える地域の環境

第3回旭市環境衛生大会

環境に対する意識を高め、きれいなまちづくりを進めるため、1月31日に東総文化会館で第3回旭市環境衛生大会が開かれました。大会では、地域環境美化功労者と環境美化に関する作文コンクール入選者の表彰のほか、地球温暖化をテーマに千葉県地球温暖化防止活動推進員である石井皓さんの講演がありました。

▶環境美化に関する作文コンクール入選者



正司歌江さんが講演

干潟公民館で「文化講演会」



▲「希望を持って暮らしていけば、幸せな人生につながる」と語る正司歌江さん

「かしまし娘」として漫才で人気を博し、近年では女優としても活躍する正司歌江さんが、2月17日に干潟公民館で「笑いと涙と希望の人生ドラマ」と題して講演を行いました。旅役者として家族で全国各地を歩いた経験を始め、つらかったことやうれしかったことなどの思い出を、時折笑いを織り交ぜながら話してくれました。

旭中央病院でウインターコンサート

旭二中吹奏楽部



旭二中吹奏楽部の部員44人が参加して、2月7日、旭中央病院薬局前のホールを会場に「ウインターコンサート」を開催しました。「パイレーツ・オブ・カリビアン」など、息の合ったすばらしい演奏のほか合唱も披露。入院患者さんや当日来院した患者さん、お見舞いの方など大勢の観客が足を止めて楽しそうに演奏に聞き入っていました。

練習の成果を発表

第3回グリーンコンサート



大人から子どもまで幅広い年齢の方々が、器楽や声楽の腕前を発表するグリーンコンサートが、1月27日に東総文化会館で開かれました。ピアノやバイオリン、ギターなど演奏する楽器もさまざまですが、参加者みんながそれぞれ気持ちのこもった演奏や歌声を披露しました。

知事が茅葺屋根の古民家で座談会

「時代が求める農産物の生産振興について
知事&市長と語る会」

1月18日、大原幽学遺跡史跡公園内にある茅葺屋根の古民家（旧林家）に知事を招き、市内農業者をはじめ農産物加工・直売、食育ボランティア、生協、栄養士など、食に係わる女性たち約50人が座談会を行いました。昼食には旭の食材を使ったオリジナルメニューが用意され、食事をしながら自己紹介やフリートーク。知事は出された料理一つ一つに「これはアイデア賞！」など感想を述べながら残さず食べていました。座談会では囲炉裏を囲んでリラックスした雰囲気の中、家庭での食事や子どもへの食育、地産地消など、女性ならではの意見交換が、積極的に行われました。



◀朝食の大切さを教えるために使っている紙芝居を知事に披露する参加者

今年も早朝から行列！

西宮神社とがらしごぼう

西宮神社の伝統行事として毎年1月18日に行われている春の大祭「とがらしごぼう」。今年も名物「とがらしごぼう」を求めて、朝早くから行列ができました。一番乗りは午前2時40分からという気合の入りよう。用意された大小8,000個の「とがらしごぼう」は午前中には終了してしまいました。



◀休む間もなく売られていく『とがらしごぼう』

こわい鬼!?を追ひ払え！

2月3日の節分にちなんで、市内の保育所で豆まきが行われました。1日に行われた中央第三保育所の「豆まき」では袴を着た年長の子が舞台からお菓子をまくなど本格的。同じ保育所内の子育て支援センターでは入所前の子どもたちが集まる中、ダンボール箱で作られたユニークな格好の鬼が子どもたちの前に現れました。「昨年は鬼が怖いと泣かれてしまったので」と鬼役の保育士さん。今年の子どもたちは笑顔で鬼を追ひ払っていました。

コンテスト優勝料理が給食に

ダイエット半バーガー



給食用にアレンジされたダイエットハンバーガー



▲給食のハンバーグに使われている旭産のレンコンについて、栄養士の説明を聞く子どもたち

昨年のいきいき旭産業まつり（旭のおいしい食材料理コンテスト）で優勝した「ダイエット半バーガー」。この料理が1月の給食週間に市内の学校給食に登場しました。

オリジナルメニューは、市特産のレンコンをふんだんに使ったライスバーガー。今回は、給食用にアレンジしてハンバーグとして出されました。1月29日に飯岡小で子どもたちと一緒に給食を食べた考案者の方からも、「味もイメージどおりになった」と太鼓判。子どもたちからは「シャキシャキしておいしい」、「オリジナルのダイエット半バーガーも食べてみたい」など大好評でした。

地区の交流の場が完成

神宮寺浜区コミュニティセンター



市から平成19年度コミュニティ育成の補助を受けて、神宮寺浜区コミュニティセンターが完成しました。この施設は、約120㎡の面積で、身障者用トイレやスロープなどが備え付けであり、高齢者や身障者にも使いやすい造りになっています。



◀笑顔でお菓子をまく子どもたち

「鬼は一そと！」赤いボールを豆に見立て鬼に向かって投げる子どもたち

